令和８年度　市川中２年グランドデザイン



学年経営目標

中堅学年としての自信をもち、
知・徳・体の調和のとれた「たくましい生徒」の育成

今年度の重点	今年度の重点取組及び分掌
確かな学力の育成 〇主体的に学習に向かい、学ぶことが楽しい授業づくり ・授業規律の確立を図り、授業形態の工夫をし、自ら考え学び合える授業を行う ・ICT機器の日常的な活用 〇探究的な「みさと学」を推進する 〇家庭学習の個に応じた内容の充実 ・各教科の課題や自主学習ノート、テスト前学習の取組による家庭学習の内容の充実を図る ・個に応じた学習支援を行う 〇自らの生き方や将来について意識を高め、目標を明確にした進路学習の推進	・グループ活用、ICTの活用など授業形態を工夫して、主体的に活動し、意見交流ができる場面を設ける。（全） ・タブレットを活用した授業や、日常的な活用の仕方を提案する。(高次) ・「職場体験(みさと学)」を通して地域を知り、学習した内容をまとめ発表する力を育てる(全) ・各教科の課題に取り組み、学びのPDCAサイクルを確立して、内容が充実できるよう指導する。(塩澤・長田) ・定期テストへの取組過程と事後指導を通して、成果と課題を洗い出し、各自にあった学び方ができるよう、個に応じた支援を行う。（全） ・総合的な学習の時間の中で、目標を明確にして「職業レディネステスト」「職場体験」「高校調べ」等を実施し、自分の適性や進路を考え意識を高める機会とする。（依田）
豊かな心の育成 〇中堅学年として、責任と誇りをもてる集団づくり ・各種行事、諸活動への責任ある取組を通して、先輩として誇りをもてる集団づくりを推進する 〇互いを敬愛し、自他の幸せのために行動できる仲間づくり ・他者の意見を聴き、様々なことを自分事として捉え、多面的多角的に考え、判断し行動できる心を育てる ・いじめを「ゆるさない」「させない」指導を徹底する ・「自分事として考え議論を深める」道徳を実施する 〇福祉教育・ボランティアの推進 〇豊かな心を育む読書活動、合唱活動の推進 〇家庭や関係機関との積極的な連携 ・一人一人の気持ちに寄り添う生徒指導を行う	・学級・学年活動や行事等で様々な役割を設け、やり遂げた頑張りを認め合える場を大切にする。（塩澤・長田） ・学年執行部などのリーダーを中心とした、自分事として取り組む生徒会活動を推進する。（塩澤） ・自分の気持ちを伸び伸びと伝え合う経験を増やし、互いの良さを認め合い、自分らしく力を発揮できる活動を行う。（全） ・道徳の授業を学年職員全員で行い、人権を守りいじめを許さない心、平和について等を考え議論する授業を行う。（長田） ・生活記録ノートのやりとりや二者懇談等を通じて、生徒一人一人の思いや考えを知り生徒理解を深める。(塩澤･長田・菊田・高次) ・福祉教育を進め、ボランティア活動や防災訓練等への積極的な参加を図る ・多様な表現に触れ楽しさを体験できる読書活動、合唱活動の機会を設け推進する。（菊田・長田） ・生徒のよりよい成長のために、保護者、SCやSSW等の関係機関と連携し、多くの人で支え、指導や支援を行う。(依田)
健康・安全 〇心身の健康に努め、自ら行う健康管理の推進 〇SNSの適切な活用をはじめとした、自分の行動を考える情報リテラシー教育の推進 〇部活動を通じた心身の健康の向上 〇生徒と教師で共に進める美しい環境づくり	・自ら健康管理ができるよう、自分の生活リズムや食生活を見つめ、課題の解決を行う学習の機会を設ける。(依田) ・生徒会「SNS宣言」をもとに、メディアや情報の正しい利用の在り方についての学習を実施し、自分の行動を考える機会を設ける。（塩澤） ・部活動の年間計画に見通しをもち、メリハリをつけた安全で効率的な部活動を行い、心身の健康の向上を図る。（全） ・生徒会重点活動の清掃活動を師弟同行で行う。ベランダの花栽培や教室等の環境美化に努める。(塩澤・長田・菊田・高次)
地域との連携 〇保護者との積極的な連携 ・学校の様子を発信し、保護者への丁寧な情報共有を図り、生徒のよりよい成長を支援する 〇地域社会の一員としての積極的活動の推進 ・「みさと学」の推進、地域学校協働活動・学校家庭地域連携推進協議会と連携した活動を実施し、自分が育つ地域の特色を学び、社会参画を図る	・学級・学年通信を適宜発行して学年の様子を保護者に発信したり必要に応じて電話連絡や家庭訪問を行ったりする等、保護者と共通認識をもって生徒指導にあたる。（全） ・みさと学に取り組み、地域での職場体験学習を実施する中で、地域の良さ、地域とのつながりや、仕事とは、働くこととは何かを考える。（依田）